

URGCCマトリクス

【学士教育プログラム学習教育目標とURGCC学習教育目標との対応関係表】

数理科学学士教育プログラム

	URGCC学習教育目標	自律性	社会性	地域・国際性	コミュニケーション・スキル	情報リテラシー	問題解決力	専門性	
		自分自身が掲げる目標の達成に向けて、自律的に学習し行動することができる。	市民として社会の規範やルールを理解し、倫理性を身に付け、多様な人々と協調・協働して行動できる。	地域の歴史と自然に学び、世界の平和及び人類と自然の共生に貢献することができる。	言語とシンボルを用いてコミュニケーションを行い、自分の考えや意思を明確に表現することができる。	幅広い分野の情報や知識を多様なチャンネルから収集し、適切に理解した上で取捨選択し、活用することができる。	批判的・論理的に思考するとともに、これまでに獲得した知識や経験等を総合して問題を解決することができる。	専攻する学問分野における思考法、スキル、知識等を体系的に身に付け、活用することができる。	
学士教育プログラム学習教育目標	(1) 本学の理念に基づき、諸科学の基礎としての数理科学を学ぶ。	○				○	○	○	
	(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 大学で学ぶ科学、特に数学を自主的に学習し、問題を考えながら関連している事柄への視野を広げる。								
	(2) 社会の多様化及び時代の変化に柔軟に対応できる幅広い素養を身に付ける。					○	○	○	
	(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 社会の多様化に従って必要とされる領域の中で数学を応用している様々な分野について学ぶ。								
	(3) 数学的専門知識を理解し、それを様々な問題に柔軟に応用することができる実践力を身に付ける。	○					○	○	○
	(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 自分の力で問題を考えながら学び、必要に応じて専門書や論文等の文献を参考にして、数学の専門知識を理解する。								
	(4) 従来の考え方に囚われない発想力や論理的な思考力を養うことにより、幅広い世界的な視野に立って、多様に変化していく社会に貢献できる力を身に付ける。		○	○			○		
	(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 外国語科目を学習することにより、国際的な活動を行う際に必要となるコミュニケーション力を養成する。また、社会の仕組みや世界の様々な文化等についての知識を身に付けるため、共通教育科目からの幅広い領域を学ぶ。								
	(5) 数学の専門基礎に関する文献を読みこなせる力を養い、情報化社会に資するため、数学の理論の応用ができる力を身に付ける。	○				○	○	○	○
	(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 自分の学びたい専門をゼミ形式で議論しながら、自分の考えを発表し、問題解決の力を養い、数学の専門基礎を学ぶ。また、数学の知識や考え方が現代の情報化社会でどのように応用されているかについて考える。								
(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由)									
(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由)									